

研究協力 の お 願 い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：当院における膵癌切除症例に対する後ろ向きコホート研究

1. 研究対象者および研究対象期間

2010年1月1日から2023年9月31日に、当院外科で膵癌に対して膵切除術を施行した患者様。

2. 研究目的・方法

膵癌は膵切除を行っても術後再発率が高く予後が不良であるため、切除術に加えて補助療法を併用することが国内外で試みられてきました。切除可能膵癌に対しては、現在ゲムシタビン塩酸塩とS-1を併用した術前化学療法が広く行われていますが、いまだに膵癌の治療成績は不良です。最適な術前化学療法や治療期間に関して結論は出おらず、この研究では、膵切除を施行した患者様の患者背景、血液検査、画像検査、予後を診療録より把握し、転帰に関連する因子を調査します。また、必要に応じて電話での聞き取り調査を追加する場合もあります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ①年齢、性別、身長、体重、初診時・膵切除術前CEA,CA19-9,DUPAN-2,Span-1値、アルブミン値、CRP値、白血球数、好中球数、単球数、血小板数の血液検査、CT,MRI画像所見（腫瘍最大径、周囲浸潤、リンパ節転移、L3腸腰筋面積）の術前情報
- ②術式の詳細（膵頭十二指腸切除術、膵体尾脾切除術、リンパ節郭清の有無、開腹、腹腔鏡、多臓器合併切除の有無）
- ③手術時間、出血量、輸血や血液製剤の使用の有無

④病理組織学的所見(化学療法群では、膵癌取り扱い規約に基づいて化学療法の治療効果判定を行う)

⑤術後在院日数、術後合併症の有無

⑥膵切除後の術後補助化学療法、膵切除後の再発形式や再発診断日、最終生存確認日、原病死の有無

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

外科

田中 秀治

電話番号：058 - 246 - 1111

(内線 8046)